

所長の模型部屋（第15回）

皆さんこんにちは。皆さんが作った模型の中で一番大きいものは何ですか？

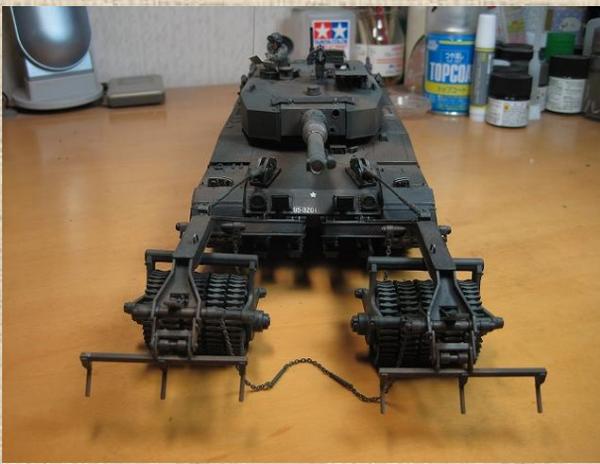
私は1/350の宇宙戦艦ヤマトです。冬のボーナスはたいてい買いました。70センチを越える大きさは迫力があります。もっとも、艦船モデラーとしては1/350なんて当たり前なのかも知れませんね。1/35スケールの中ではドラゴンのスカッドBミサイルですね。発射状態にして飾っていたらかえって場所をとってしまいました。そして、その次に大きいのはこの戦車・・・



約30センチほどの長さのこの戦車は、私の作った戦車模型の中でも大きい方です。ただ戦車自体が大きいのではなく、この装着している物が長いから大きくなってしまっただけなのです・・・

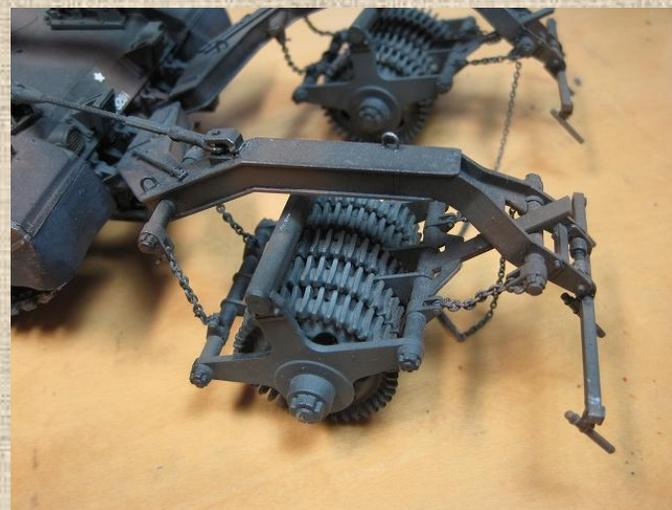
地雷処理ローラは、90式戦車中隊に1両が配備されていて、普段は取り外されており、攻撃前進中地雷原に遭遇した際、強行処理するため専用トレーラから卸下し、ローラ装着用90式戦車に取り付けて処理し、本コーナー第1回目で紹介したドーザ付戦車で路面を整地して後続の戦車を通過させるのです。装置の先に6本の棒と、鎖で引きずっている2本の棒がありますが、この棒は磁石で、磁気反応地雷をコレで反応させて爆破します。感圧式地雷については、左右5枚ずつの鉄製ローラで爆破します。この2法で、全ての対戦車地雷は処理できます。

とにかく重いんですよ。さすがの90式戦車でも動かすのは大変でした。泥濘地では尚更でしたね。74式戦車でも地雷処理ローラ装着型があったのですが、もう悲惨でしたね。一部の部隊にしか配備されませんでした。



オードナンスモデルで発売されているエッチングパーツの他、90式戦車の特徴である「自動装填装置」（札幌あいの里ホビー2取扱いのレジキット）を組み込みました。





フィギュアはオートバイ偵察セットの物です。ヘルメットに迷彩カバーが付いていない本来の姿です。重機関銃も戦車の角も鉛筆の芯粉でこすりつけています。地雷処理ローラーの合わせ目の処理も、10枚ですから大変でした。

転輪のパーティングラインを消すのも大変なのに、ひたすら耐える作業でした。

でも、手を抜くとその後の出来栄に影響を及ぼしますから丁寧に作りましょう。

実車では一日仕事の装着も、模型では楽チンでした。当たり前か・・・

さて次回は・・・



AH-64D

です。

あまり自信がないのですが・・・見て下さい。ではまた！